

# 事務所からのお知らせ

## ● 平成22年度静岡営繕事務所工事安全連絡会議を開催しました。

9月15日、工事施工業者、監理事務所を対象に総勢28名参加のもと、現場における安全確保や工事担当者の安全意識の向上を図るため、平成22年度静岡営繕事務所工事安全連絡会議を開催致しました。今回は静岡労働局労働基準部安全衛生課鈴木主任安全産業専門官を招き、建設業における死亡災害発生状況、墜落・落下等による建設業労働災害の防止、熱中症死亡者数増加に対する熱中症予防について講話を頂き、現場の安全管理をする上では法律を守るだけではなく、それ以上に安全な措置を講ずることを心がけて欲しいとのお話がありました。

また、中部地方整備局技術評価課 横井工事検査係長より、営繕工事における最近の事故・施工不良例を紹介して頂き、埋設配管等を切断してしまう事故が多い状況から、地下埋設物・躯体埋込み配管等の事故防止マニュアル(営繕版)について講話を頂きました。掘削、削孔前には施工計画、安全計画をしっかり立て、既設図面の確認及び配管探査等を実施することにより事故防止を徹底することが重要だとのお話がありました。

保全実態調査の報告では、直近5カ年の建物法定点検の実施率が40%~90%とばらつきがあることに触れ、「法定点検は法律で定められた点検項目であるため本来100%でなければならない。今後は確実に実施を行うこと。」と指摘しました。

会場内に設けた相談窓口においては、2官署が相談に訪れ、建物点検等の相談内容について対応をしました。



会議の様子



各工事請負業者の発表



積極的な意見交換がなされました。